



ソニーとの業務・資本提携について

2012年10月1日

代表取締役社長執行役員 笹宏行

本資料は適時開示資料ではなく、2012年10月1日に実施した共同会見における、
当社のプレゼンテーション資料です。
業務・資本提携をご理解いただくためのご参考として掲示致します。

業務・資本提携について

医療・デジタルカメラ事業の提携を通じて

両社の強みを融合し、各々更なる企業価値向上を目指す

SONY

- 映像・医療事業の両分野においてキーデバイスであるイメージセンサーや画像処理技術に強み
- デジタルイメージング技術、3D/4K技術等、幅広い技術を保持

業務提携(映像事業)
基幹部品の相互供給等
製品/価格競争力の強化

業務提携(医療事業)
先進技術の融合
新医療機器の創造
(JVの設立)

資本提携
オリンパス: 第三者割当増資実施
ソニー: 500億円の出資

OLYMPUS

- レンズ・鏡枠等、光学技術に強み
- 医療事業における先駆的なノウハウと、内視鏡の圧倒的な世界シェアに基づく顧客インフラを保持

中期ビジョン(基本戦略)

①事業ポートフォリオの再構築・経営資源の最適配分

②コスト構造の見直し

③財務の健全化

④ガバナンスの再構築

中期ビジョン(基本戦略)

①事業ポートフォリオの再構築・経営資源の最適配分

②コスト構造の見直し

③財務の健全化

④ガバナンスの再構築

事業ポートフォリオの再構築・経営資源の最適配分

◆ デジタルコンパクトカメラを中心に部品の相互供給等により競争力強化

映像事業の再建

- ▶ ミラーレス一眼・高価格帯コンパクトへの集中
- ▶ **製造原価、販管費等の収益構造の改善**

◆ 外科事業において、エネルギービジネスの確立に加え新たな市場を創出

医療事業の拡大

- ▶ 消化器内視鏡事業の更なる基盤強化
- ▶ **外科事業の飛躍的成長の実現**
- ▶ 新興国市場での販売強化

デジタルカメラ事業

SONY

提携

OLYMPUS

狙いと効果

- **コスト構造の見直し**
 - 部品の相互供給等によるコスト構造の改善
- **製品競争力の強化**
 - コンパクトデジタルカメラ領域を中心とした製品力強化



(映像事業) 安定的に営業利益を黒字化

医療事業

SONY

提携

OLYMPUS

狙いと効果

● 外科イメージング事業の強化・拡大

- ソニーのデジタルイメージング技術を外科イメージング機器へ応用し、高度な外科手術ニーズへ対応
- ソニーの映像配信・通信技術をベースとして、AVソリューションを通じたシステムインテグレーション
- 画像周辺機器のラインナップ・販売ボリュームの拡大、周辺機器のシステム性の向上



外科事業の飛躍的成長の実現

財務の健全化

株主価値の最大化を目指すことを基本とし、財務の健全化を図る

- (1) 安定した事業収益の確保
- (2) キャッシュフロー最大化
- (3) 資産のスリム化



資本提携により、早期の自己資本安定化が実現

OLYMPUS

Your Vision, Our Future